

第 15 章	社会(公民)	名前:	日 付	No.02
	社会保障・公害			

[問題 1]

文中の()にあてはまる語句や数字を、下の[]から選んで書け。

日本は、65 歳以上の人口が 23%をこえる高齢社会となっている(2010 年現在)。このことで社会のしくみに問題が出てくる。たとえば、(①)を受け取る人々の増加によって、(②)層の負担が増大する。また、核家族化がすすんで、家族の人数が減り、家族だけによる(③)がむずかしくなっている。高齢者や障害者がくらしやすい(④)社会の実現のために公共的建物の(⑤)化も必要である。

[福祉 標準 バリアフリー 介護 公的年金 若者 給料]

[解答欄]

①公的年金	②若者	③介護	④福祉	⑤バリアフリー
-------	-----	-----	-----	---------

[解説]

【少子高齢化→社会保障の資金不足】

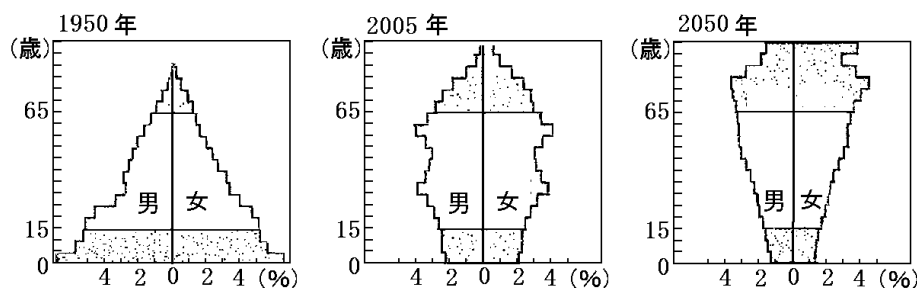
・高齢化→社会保障支出が増大
 ・少子化→生産年齢人口の減少
 →税金・社会保険料の減少
 } 資金不足

現在の日本は、すでに少子高齢化社会に突入しているが、今後もさらに人口の高齢化が進むと予想されている。高齢者の人口が増えると、年金保険・医療保険・介護保険などの社会保険のための支出が増加する。これらの社会保険の支出は保険料と税金でまかなわれているが、少子化の影響で生産年齢人口(15～64 歳)が減少していくため、保険料の伸びは期待できない。

したがって、財源が不足し、このままでは制度が維持できなくなるおそれがある。消費税率をあげてその一部を社会保険の不足分にあてる、保険料の引き上げをおこなう、年金の支給金額の引き下げ・受給開始年齢の引き上げを同時に行うなど、国民に大きな負担を強いる改革が必要となるが、その実行には大きな困難が伴う。

[問題 2]

医療費や年金などの社会保障に必要な資金が不足していくと考えられる。下のグラフを参考にして、その理由を説明しなさい。(出生率・平均寿命という語句を使って)



[解答欄]

出生率の低下と平均寿命ののびによる少子高齢化によって、給付額が増加していくのに、働き手が減るので保険料収入や税収が減少していくため。

[問題 3]

社会保障を充実させていくと、働き盛りの世代の負担はどのようなになるか。「税」・「社会保険料」の2つの語句を使って、簡単に書け。

[解答欄]

社会保険料の増加または税金の増加という形で負担が大きくなる。

[問題 4]

わが国の年金制度が抱える問題点について説明しなさい。また、あなたならどんな政策をとるかについても述べなさい。

[解答欄]

社会の少子高齢化が進むにつれて、支出が増大し、このままでは財源が不足してしまうという問題がある。増税と保険料の引き上げ、支給金額の引き下げ・受給開始年齢の引き上げを同時に行うべきである。

[問題 5]

次の表を見て、各問いに答えなさい。

病名	新潟(①)病	四日市(②)	イタイイタイ病	(①)病
地域	阿賀野川流域	三重県四日市	富山県神通川流域	熊本・鹿児島県
原因	水質汚濁	(③)	(④)	水質汚濁

(1) 上の表は、四大公害病に関するものです。表中の①～④にあてはまる語句を、次から 1 つずつ選びなさい。

[大気汚染 水質汚濁 水俣 ぜんそく]

(2) 公害問題だけでなく、広く環境問題に総合的に対処するために、1993 年に制定された法律は何ですか。

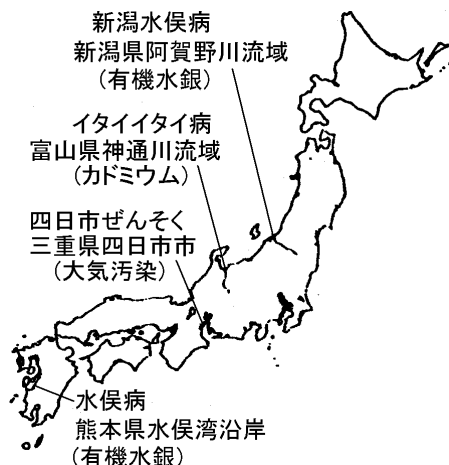
(3) 近年深刻化している生活公害の例を 1 つあげなさい。

(4) 主な公害 7 つのうち 3 つの公害をあげなさい。ただし、大気汚染、水質汚濁は除きます。

[解答欄]

(1)①水俣	②ぜんそく	③大気汚染	④水質汚濁
(2) 環境基本法	(3) ダイオキシンによる土壤汚染		
(4) 騒音、ごみ、土壤汚染			

[解説]



戦後、日本が急速な経済発展をとげるにつれて、各地で深刻な公害問題が発生した。なかでも、熊本県水俣湾の**水俣病**、三重県四日市の**四日市ぜんそく**、富山県神通川流域の**イタイイタイ病**、新潟県阿賀野川流域の**新潟水俣病**の 4 つは四大公害とよばれた。

これに対して、公害追放の住民運動が各地で展開されたため、公害を防止し、環境汚染をくいとめるべく、1967 年に**公害対策基本法**が作られ、1971 年には**環境庁**が新設された。また、1993 年、**環境基本法**が作られた。

こうした努力によって生産活動による公害は少しずつ減っていった。しかし、その反面で騒音、排気ガス、ごみなどによる生活公害が大きな問題になっている。最近では、廃棄物焼却施設から排出されるダイオキシンによる土壤汚染・大気汚染が大きな問題となった。

[問題 6]

次の各問いに答えなさい。

- (1) 右の地図の①～④の地域で発生した公害名を答えなさい。
- (2) わが国では、1960～70 年代にかけて多くの公害が問題になりました。
この時期に多くの公害が発生した理由を当時の時代背景とともに説明しなさい。



[解答欄]

(1)①水俣病	②四日市ぜんそく	③イタイイタイ病	④新潟水俣病
(2) 1960～70 年代の高度経済成長の時代には、産業の発展が最優先されたため、各地で多くの公害が発生した。			

[問題 7]

次の各問いに答えよ。

- (1) 戦後日本が高度経済成長に向かい工業が発展すると、人々を犠牲にする深刻な被害が各地で起こった。
これを何とよぶか。
- (2) (1)のうち、水俣病は何県で起こったか。2 つあげよ。
- (3) 環境問題に総合的に取り組むことを目的に 1993 年に制定された法律は何か。

[解答欄]

(1) 公害	(2) 熊本県、新潟県	(3) 環境基本法
--------	-------------	-----------